

小森陽一 講演会

東京大学大学院教授(日本近代文学)・九条の会事務局長

安倍政権のめざす「教育再生」と日本のゆくえ

誰のため、なんのための教育なのか??

4月28日(日) 14:00~16:00
フォレスト仙台2Fホール

仙台市青葉区柏木1-2-45

参加費 500円

どなたでもご参加ください

主催 民主教育をすすめる宮城の会・仙台の子どもと教育をともに考える市民の会

連絡先 022-234-0141

022-271-8290

安倍首相は前回政権担当時の2006年12月、1947年制定の教育基本法の改悪を強行しました。これは、ひとえに教育への国家統制をすすめる、お国の為の人づくりを徹底しようとするものでした。

昨年末の総選挙では、マニフェストの上位に「教育を取り戻す—教育再生」を掲げ、第一次内閣当時に道半ばで挫折し、実現することが出来なかった教育政策を、一気呵成に推し進めようとしています。

そのため組閣後ただちに「教育再生実行会議」を設置しましたが、そのメンバーとして、元「新しい教科書をつくる会」の八木秀次氏、作家の曾野綾子ら、安倍首相と国家観・歴史観・家族観をともにする人物をずらりとならべています。

すでに公表されている自民党改憲案は、憲法の平和主義が骨抜きにされ、基本的人権への侵害も随所に見られるものです。それらは、教育政策ともあいまって、子どもたちやこの国をどこに導こうとするものでしょうか。

子どもたちの確かな育ちと、平和で希望ある未来のために、改めて憲法と1947年教育基本法の初心に立ち返り、私たちの歩むべき道を確かめ合いたいと思います。

◆ 13:00~13:40まで、「宮城の会」総会を開催いたします ◆